

【第2章】福島市の景観ビジョン

1. 福島市の景観特性



(1) 位置と概要

本市は、福島県中通り地方の北部に位置し、東は伊達市、桑折町、川俣町、西は山形県と猪苗代町、南は二本松市、北は宮城県に接しています。

本市の規模は、東西の長さが30.2km、南北の長さが39.1km、面積が767.72km²と広大な市域を有しています。

本市は、西に奥羽山脈、東に阿武隈高地に囲まれた福島盆地を形成しています。

盆地は、北東から南西に“ひょうたん型”の平地を形成し信達平野と呼ばれています。

奥羽山脈の一部を形成する吾妻連峰の一つ吾妻小富士は、春先になると山肌に残る雪がうさぎの様な形に見えることから、「雪うさぎ（種まきうさぎ）」と呼ばれ、市民に春の訪れを知らせる風物詩となっています。

栃木県境に源を発する阿武隈川が市街地の東方を南から北へ流れ、また、吾妻連峰に源を発する荒川、松川、摺上川などの河川が西から東に流れ阿武隈川に合流しています。

本市には、歴史を有する飯坂温泉、高濃度の硫黄泉で知られる高湯温泉、土湯こけしで有名な土湯温泉などの個性豊かな温泉郷が豊富にあり、多くの観光客が訪れています。

また、信夫山は、標高275mの残丘として、中心市街地の北部に位置し、平地の中にぽつんと存在することから全国的にも珍しいと言われています。

山頂などからは福島市街を一望でき、春には大勢の花見客で賑わう本市のシンボリックな存在として、市民に親しまれています。

全国的にも有数の果樹生産地となっている本市は、“くだもの王国ふくしま”と言われています。夏は全国有数の暑さで冬は寒さが厳しい寒暖差の激しい内陸性の盆地型気候であり、また、新鮮な空気、豊かな阿武隈川の水などによって、もも、なし、りんご、ぶどう、さくらんぼなどの美味しい果物が市内各所で豊かに実ります。特に、吾妻連峰の麓を走る約14kmにわたる県道（愛称：フルーツライン）沿いには果物畑が広がり、販売店や果物狩りのできる観光果樹園が数多く並んでおり観光名所となっています。

さらに、果物の花は、四季を通じて美しい花々が咲き誇り彩りをもたらします。

日本を代表する写真家の故秋山庄太郎氏は、市内の花の名所「花見山」を何度も訪れ、『福島には桃源郷がある』と絶賛されました。シーズン中は約20万人もの観光客が訪れ、全国的にも有名な桜の名所となっています。

本市の鉄道は、市街地を東北新幹線、東北本線が縦貫するとともに、奥羽本線、阿武隈急行線の起点となっています。

また、県庁所在地として、国道4号、13号、114号、115号線などの広域幹線道路や東北縦貫自動車道が通る交通の要所であり、県内の政治、産業、文化の中心都市となっています。

本市北部の茂庭地区には、阿武隈川水系の摺上川上流に摺上川ダムが建設され、中通り北部地域への利水を目的とした東北地方で有数の規模を誇る特定多目的ダムとして、“茂庭っ湖”の愛称で市民や見学者などに親しまれています。

(2) 景観特性

① 土地利用

本市における土地利用面積の割合（国土利用計画(第4次)：平成25年6月策定）は、下図に示すとおり、山林や農地の合計（農用地・森林・原野）が全体の76.1%を占め、次いで宅地、道路の順となっています。

国道4号などの幹線道路を軸に、住宅用地、商業用地、工業用地などの都市的な土地利用がみられ、郊外に向かうにしたがって田畑や山林が多くなっています。

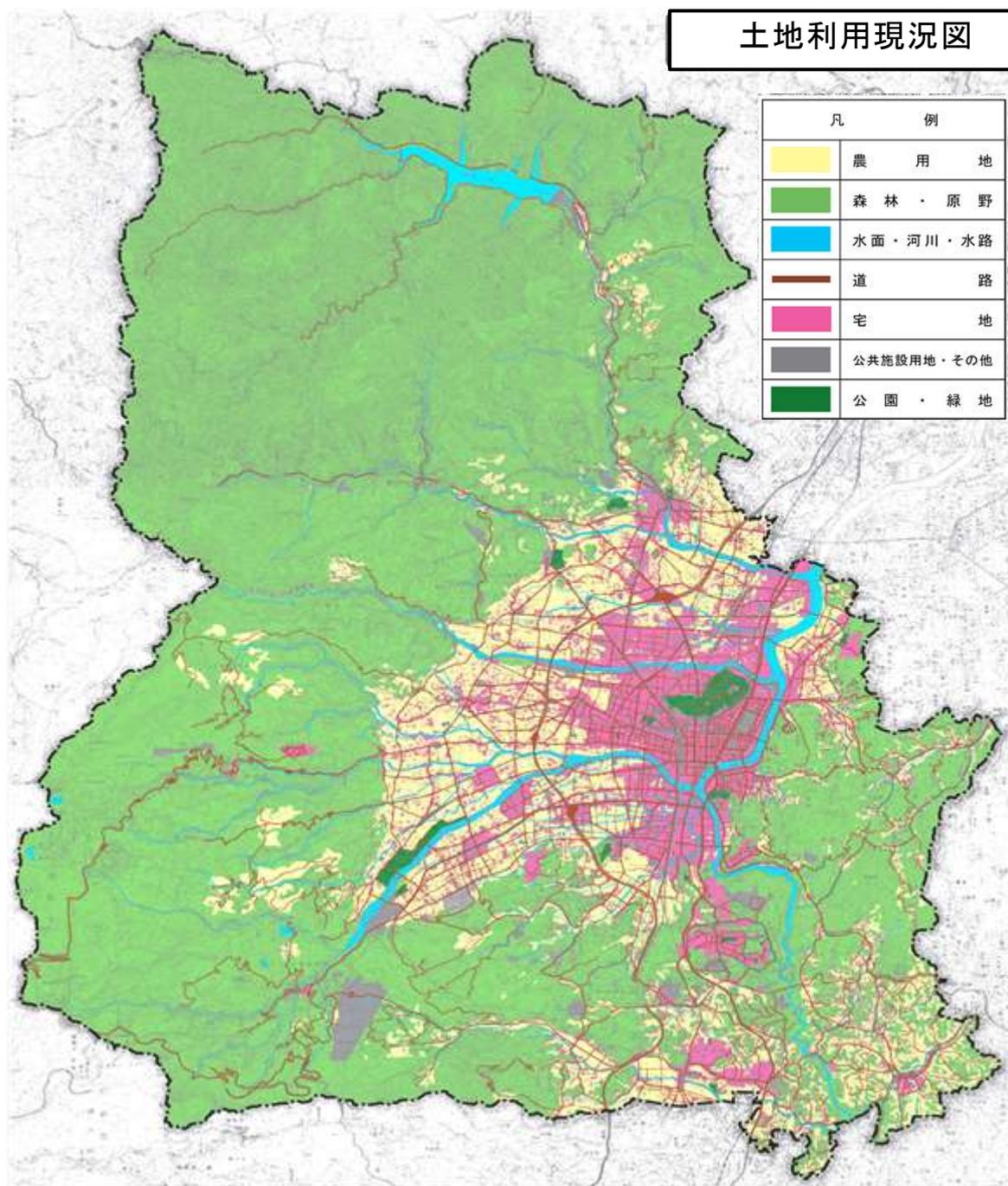


図. 土地利用現況図（国土利用計画(第4次)より）

ア 自然・田園景観

【特 性】

- 火山、渓谷、山麓、丘陵、福島盆地に広がる市街地や農地、阿武隈川と合流する複数の河川、市街地の中央に位置する信夫山など、豊かで変化に富んだ自然が豊富にあります。
- 吾妻連峰の山並みは雄大な自然景観を形成しています。信夫山をはじめ市街地を取り囲む丘陵樹林地は、四季の移ろいを感じさせる、緑豊かな景観を形成しています。
- 市街地周辺から丘陵部にかけては、田園景観の広がりの中に農村集落が点在し、ふるさとの原風景をイメージさせる景観となっています。市街地周辺に広がる果樹園、花の名所、田園風景などは、“福島らしさ”を演出しています。



弁天山公園の桜と吾妻連峰
(景観 100 選 No.1-4)



塩釜神社境内から見た田園風景
(景観 100 選 No.105)



五色沼と周辺の自然
(景観 100 選 No.3)



留石公園から見る千貫森
(景観 100 選 No.9)



摺上川の滑滝と周辺の岩肌
(景観 100 選 No.16)

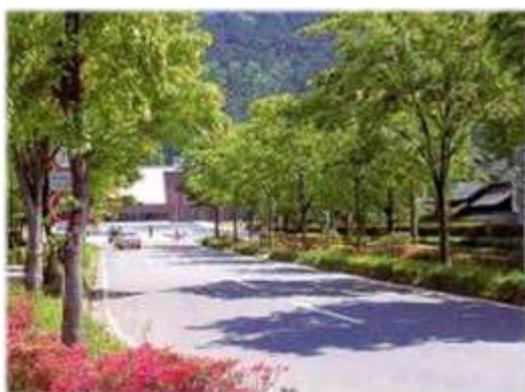


土湯温泉の吊り橋と周辺の自然
(景観 100 選 No.46)

イ 住宅地景観

【特 性】

- 市内には、主要な幹線道路を軸として、その周辺に低層住宅による住宅地景観が広く形成されています。
- 景観条例に基づく景観住民協定、地区計画や建築協定などが定められた住宅地では、地区独自のルールに沿って美しい街なみの形成を目指しています。
- 地域には各々の自然、歴史があり、それらを背景とした特性があります。特に、古くから存在する集落や旧街道沿いにおいては、風土とともに育まれてきた民家、商家などが数多く残されています。
- 市街地や市街地近郊の住宅地においては、住環境の改善とともに新しい都市型住宅の整備が進められています。



森合地区の住宅地



美郷ガーデンシティ



弁天山公園から見た信夫山と市街地
(景観100選 No.5-2)



色づくイヨヨ並木と周辺の街並み
(景観100選 No.38)



祓川緑道と周辺の街並み
(景観100選 No.57)



湧き出る泉と古民家
(景観100選 No.75)

ウ 工業地景観

【特 性】

- 福島駅周辺、市街地南部、松川町などの古くからある工業地域では、住宅との混在した土地利用となっています。一方で、新たに造成された工業団地の多くは、豊かな自然環境に囲まれ、周辺の自然景観を生かした工業地景観を形成しています。



工場と住宅の混在



福島西工業団地

エ 商業地景観

【特 性】

- 福島駅を中心に中心市街地が形成され、また、国道4号、13号線などの主要幹線道路に沿って沿道型商業地が形成されています。
- 郊外の主要幹線道路沿いには、大規模な広告物や駐車場を有する各種大型店舗が立地しています。
- 観光拠点として、既成市街地である飯坂をはじめ、土湯、高湯などの温泉郷が点在しています。



新緑映える福島駅東口駅前広場
(景観100選 No.58)



国道4号



中心市街地の吾妻通りと梨の古木
(景観100選 No.44)



十綱橋と摺上川沿いの温泉街
(景観100選 No.45)

② 景観類型 ～“福島らしさ”を醸し出す景観～

ア 自然・眺望の景観

(ふくしま市景観 100 選をベースとした分類)

【特性】

- 吾妻連峰や信夫山は、本市のランドマーク的な存在であり、四季折々の彩りをもたらし、福島盆地から見上げる眺望と山頂などから見渡す眺望の両方を楽しむことができます。
- 阿武隈川、荒川、松川、摺上川などの河川、五色沼、茂庭っ湖などの湖沼は、自然や田園風景と一体となった穏やかな水辺景観を形成しています。
- 花桃の公園の古木桜、嶽駒神社馬場の桜並木など、季節を彩る樹木が地域に育まれています。
- 市指定天然記念物である安楽寺の大王松、清水観音の大モミの木など、点在する巨樹、巨木などが地域の景観を特徴づけています。



庭坂から見た梨畑と吾妻連峰
(景観 100 選 No.1-8)



阿武隈川の水辺の楽校と市街地
(景観 100 選 No.13)



阿武隈溪谷と蓬萊岩
(景観 100 選 No.12)



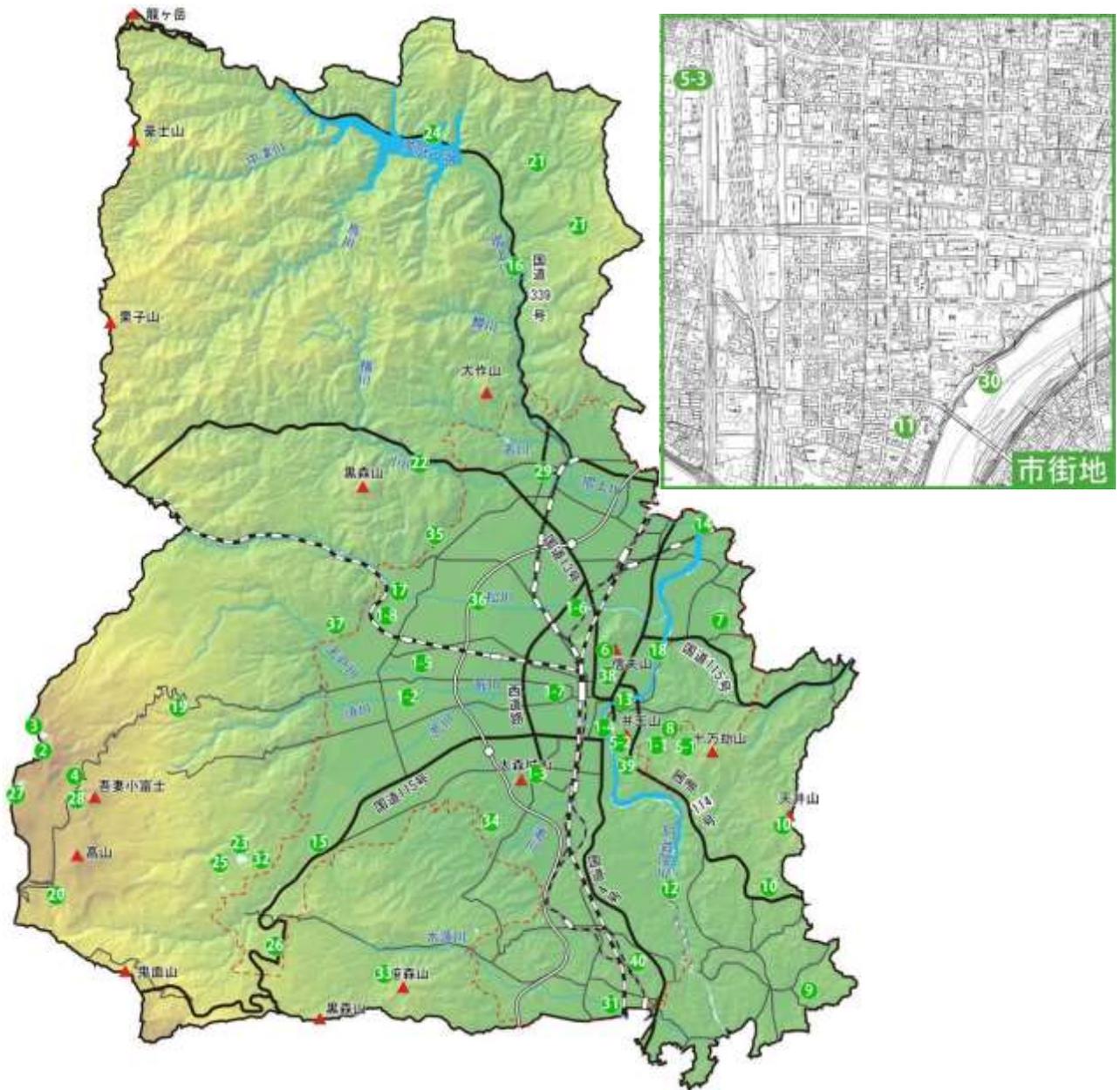
茂庭っ湖と周辺の自然
(景観 100 選 No.24)



花桃の公園の古木桜とハナモモ
(景観 100 選 No.29)



嶽駒神社馬場の桜並木
(景観 100 選 No.36)



No.	タイトル	No.	タイトル
1-1	花見山から見た吾妻連峰	17	松川の渓谷と周辺の自然
1-2	二子塚から見た吾妻連峰	18	白鳥が飛来するあぶくま親水公園
1-3	大森城山公園の桜と吾妻連峰	19	不動滝と周辺の自然
1-4	弁天山公園の桜と吾妻連峰	20	幕滝と周辺の自然
1-5	上野寺から見た桃畑と吾妻連峰	21	茂庭の滝と周辺の自然
1-6	松川運動公園の古木桜と吾妻連峰	22	中沢不動尊の滝と岩肌
1-7	荒川桜づつみ河川公園と吾妻連峰	23	思いの滝と周辺の自然
1-8	庭坂から見た梨畑と吾妻連峰	24	茂庭っ湖と周辺の自然
2	一切経山から見た吾妻小富士と浄土平	25	仁田沼と水芭蕉の群生
3	五色沼と周辺の自然	26	びっき沼と周辺の自然
4	吾妻小富士と浄土平からの星空	27	鎌沼と周辺の自然
5-1	花見山から見た信夫山と市街地	28	桶沼と周辺の自然
5-2	弁天山公園から見た信夫山と市街地	29	花桃の公園の古木桜とハナモモ
5-3	コラッセふくしまから見た信夫山と市街地	30	阿武隈川隈畔の桜と石垣
6	信夫山の噴水と桜	31	土合館公園の色とりどりのアジサイ
7	峨巖山から見た旧河道と市街地	32	つつじ山公園から見た女沼と周辺の自然
8	花見山の色とりどりの花木	33	群生するクマガイソウと周辺の自然
9	留石公園から見る千貫森	34	平田地区の色とりどりの花木群
10	千貫森と天井山からの眺め	35	安楽寺の大王松と周辺の山並み
11	御倉邸から見た阿武隈川と弁天山	36	嶽駒神社馬場の桜並木
12	阿武隈渓谷と蓬萊岩	37	清水観音と参道の杉並木
13	阿武隈川の水辺の楽校と市街地	38	色づくイチョウ並木と周辺の街並み
14	阿武隈川に合流する摺上川と吾妻連峰	39	蔵寺の参道としだれ桜
15	地蔵原堰堤の水流と周辺の自然	40	水辺に咲く松川町の芳水の桜
16	摺上川の滑滝と周辺の岩肌		

図表. 景観類型分布 (ふくしま市景観 100 選より引用)

イ 道路・公園の景観

(ふくしま市景観 100 選をベースとした分類)

【特 性】

- 磐梯吾妻スカイライン、国道 115 号、福島西道路などからは、山並みや市街地などの素晴らしい眺望を望むことができます。
- あづま総合運動公園・民家園、四季の里、水林自然林を含めた一帯は、自然環境に恵まれた交流、スポーツ・レクリエーションの拠点となっています。
- 飯坂の十綱橋、松川のめがね橋、阿武隈川の飯野堰堤などの土木遺産、宮畑遺跡史跡公園、紅葉山公園など、地域の歴史を物語る施設が点在しています。



磐梯吾妻スカイライン周辺の山並み
(景観 100 選 No.41)



福島西道路沿道の並木と公園
(景観 100 選 No.42)



あづま総合運動公園のイチヨウ並木
(景観 100 選 No.54)



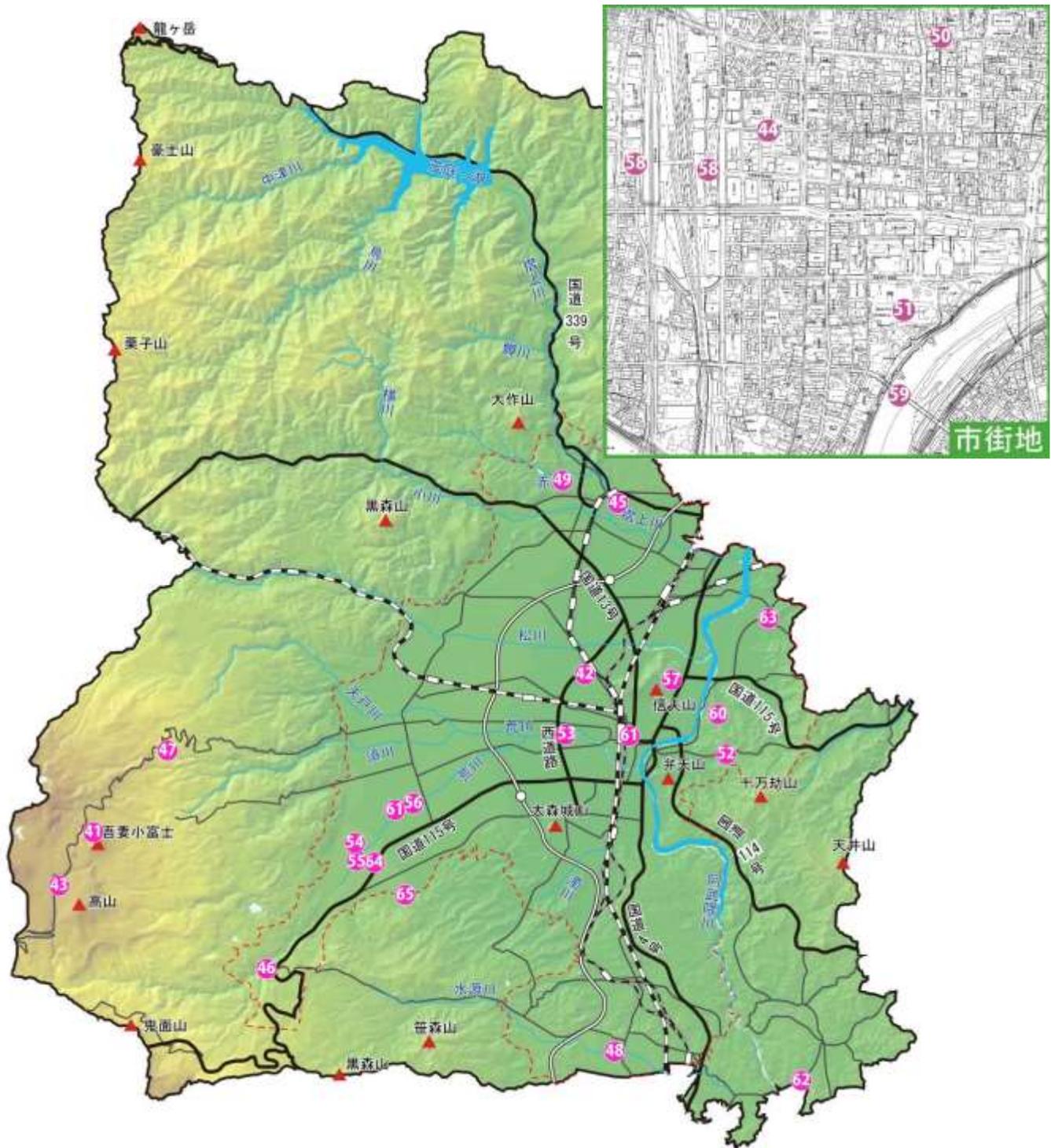
四季の里園内と豊かな自然
(景観 100 選 No.64)



飯野堰堤と周辺の桜
(景観 100 選 No.62)



復元された縄文時代のむら
「じよーもびあ宮畑」
(景観 100 選 No.63)



No.	タイトル	No.	タイトル
41	磐梯吾妻スカイライン周辺の山並み	54	あづま総合運動公園のイチョウ並木
42	福島西道路沿道の並木と公園	55	水林自然林の緑と清流
43	雪の回廊と一切経山	56	あづま総合運動公園内のこぶしの花と桜
44	中心市街地の吾妻通りと梨の古木	57	祓川緑道と周辺の街並み
45	十綱橋と摺上川沿いの温泉街	58	新緑映える福島駅東口・西口駅前広場
46	土湯温泉の吊り橋と周辺の自然	59	阿武隈川の隈畔と船着場
47	不動沢橋と福島盆地	60	小鳥の森の豊かな自然と散策路
48	めがね橋と周辺の緑	61	民家園の古民家と豊かな自然
49	花ももの里と飯坂温泉街	62	飯野堰堤と周辺の桜
50	新浜公園の緑と周辺の街並み	63	復元された縄文時代のむら「じょーもびあ宮畑」
51	紅葉山公園の緑と散策路	64	四季の里園内と豊かな自然
52	茶屋沼の水辺と周辺の桜	65	異国の情緒漂うアンナガーデン内の街並み
53	荒川桜づつみ河川公園と桜並木		

図表. 景観類型分布（ふくしま市景観 100 選より引用）

ウ 建物・街なみの景観

(ふくしま市景観 100 選をベースとした分類)

【特性】

- 旧奥州街道沿いには、町家、寺社、史跡などが点在し、城下町としての発展と阿武隈川の舟運の拠点としての隆盛をとげた歴史の名残を、町割りなどにとどめています。
- 飯坂、高湯、土湯などの温泉郷では、周辺環境に調和した情緒のある建物や街なみを見ることができます。
- 信夫山を背景とする県立美術館・図書館前道路は、周辺環境との調和が図られ、また、石畳の歩車共存道路として整備されたパセオ 470 は、賑わいづくりに貢献しています。
- 茂庭の集落、信夫山の六供集落、黒岩の小原集落などは、農山村の風景を維持しながらひっそりとたたずんでいます。



飯野町の土蔵と街並み
(景観 100 選 No.73)



旧奥州街道の歴史と周辺の街並み
(景観 100 選 No.85)



飯坂温泉の歴史的建物と周辺の街並み
(景観 100 選 No.66)



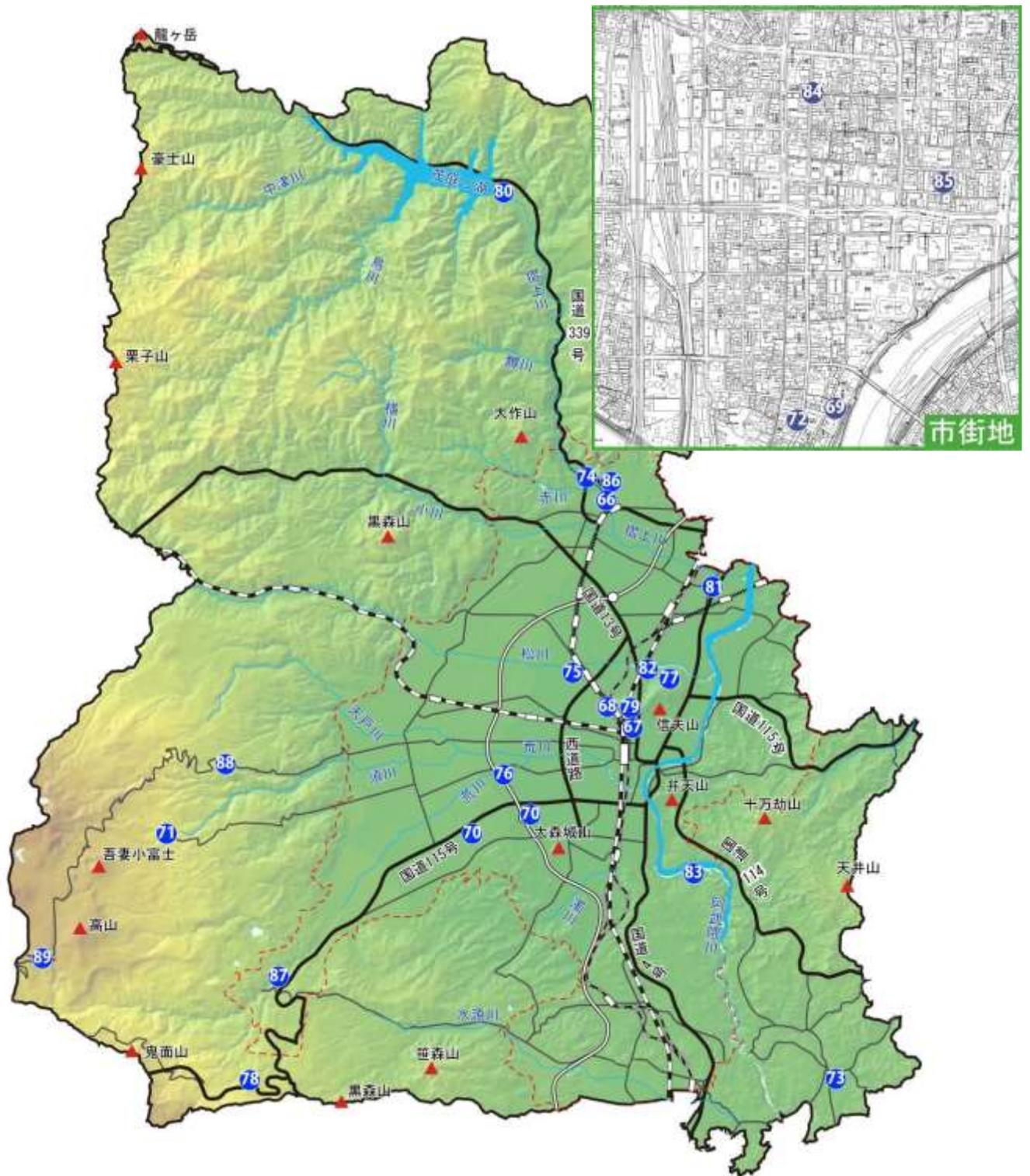
土湯温泉街と周辺の自然
(景観 100 選 No.87)



パセオ 470 の石畳と周辺の街並み
(景観 100 選 No.84)



茂庭の集落と周辺の自然
(景観 100 選 No.80)



No.	タイトル	No.	タイトル
66	飯坂温泉の歴史的建物と周辺の街並み	78	土湯峠から見た山並みと市街地
67	大正浪漫あふれる「花の写真館」【休館中】	79	烏ヶ崎から見た市街地
68	県立美術館・図書館と信夫山	80	茂庭の集落と周辺の自然
69	御倉邸の庭園と歴史的建物	81	瀬上宿場町の歴史と周辺の街並み
70	点在する集落の古民家	82	信夫山六供集落と周辺の自然
71	微温湯温泉の建物と周辺の自然	83	自然に囲まれた小原集落
72	柳町の旧城下町を感じる街並み	84	バセオ 470 の石畳と周辺の街並み
73	飯野町の土蔵と街並み	85	旧奥州街道の歴史と周辺の街並み
74	復元された旧堀切邸と周辺の街並み	86	飯坂の歴史を感じる石段
75	湧き出る泉と古民家	87	土湯温泉街と周辺の自然
76	江戸期の庄屋屋敷「旧佐久間邸」	88	高湯温泉街と周辺の自然
77	信夫山展望台から見た市街地	89	森の中にしずむ幕川温泉の家並み

図表. 景観類型分布 (ふくしま市景観 100 選より引用)

エ 名所・旧跡の景観

(ふくしま市景観 100 選をベースとした分類)

【特 性】

- 信夫文知摺、医王寺、中野不動尊、黒岩虚空蔵尊などの名所・旧跡は、雄大な自然の中にひっそりとたたずむ本市を代表する重要な景観資源となっています。
- 荒川の堰堤・霞提、万世大路の隧道などの土木遺産は、時代を物語る貴重な景観資源となっています。
- 市指定天然記念物である慈徳寺のしだれ桜（種まき桜）をはじめ、山王宮日枝神社の杉林や鷲神社の古木桜などは名所となっており、地域の景観を特徴づけています。



医王寺の歴史的建物と杉並木
(景観 100 選 No.90)



中野不動尊と周辺の自然
(景観 100 選 No.91)



文知摺観音と周辺の自然
(景観 100 選 No.96)



慈徳寺のしだれ桜と周辺の自然
(景観 100 選 No.101)



歴史的資源の霞提と周辺の自然
(景観 100 選 No.102)



黒岩虚空蔵尊と周辺の自然
(景観 100 選 No.103)

オ 農業・祭りの景観

(ふくしま市景観 100 選をベースとした分類)

【特 性】

- 市街地郊外に広がる農地は、豊かな田園景観を形成しています。丘陵地などには果樹園が広がり、フルーツライン沿線には観光果樹園が立ち並び、“くだもの王国ふくしま”を演出しています。
- 大波住吉神社の三匹獅子舞、岡山の水かけ祭りなどの伝統芸能、福島わらじ祭り、信夫三山暁参り、飯坂八幡神社例大祭（飯坂けんか祭り）などの祭事が、四季を通して各所で華やかに開催され、地域はもとより多くの市民に親しまれています。
- パセオ470では七夕祭りが開催されるとともに、冬場はイルミネーションにより彩られ、街なかに華やかさを創出しています。



水原の集落と一円に広がる田園
(景観 100 選 No.108)



フルーツラインの桃狩り
(景観 100 選 No.109)



歴史ある信夫三山暁参り
(景観 100 選 No.111)



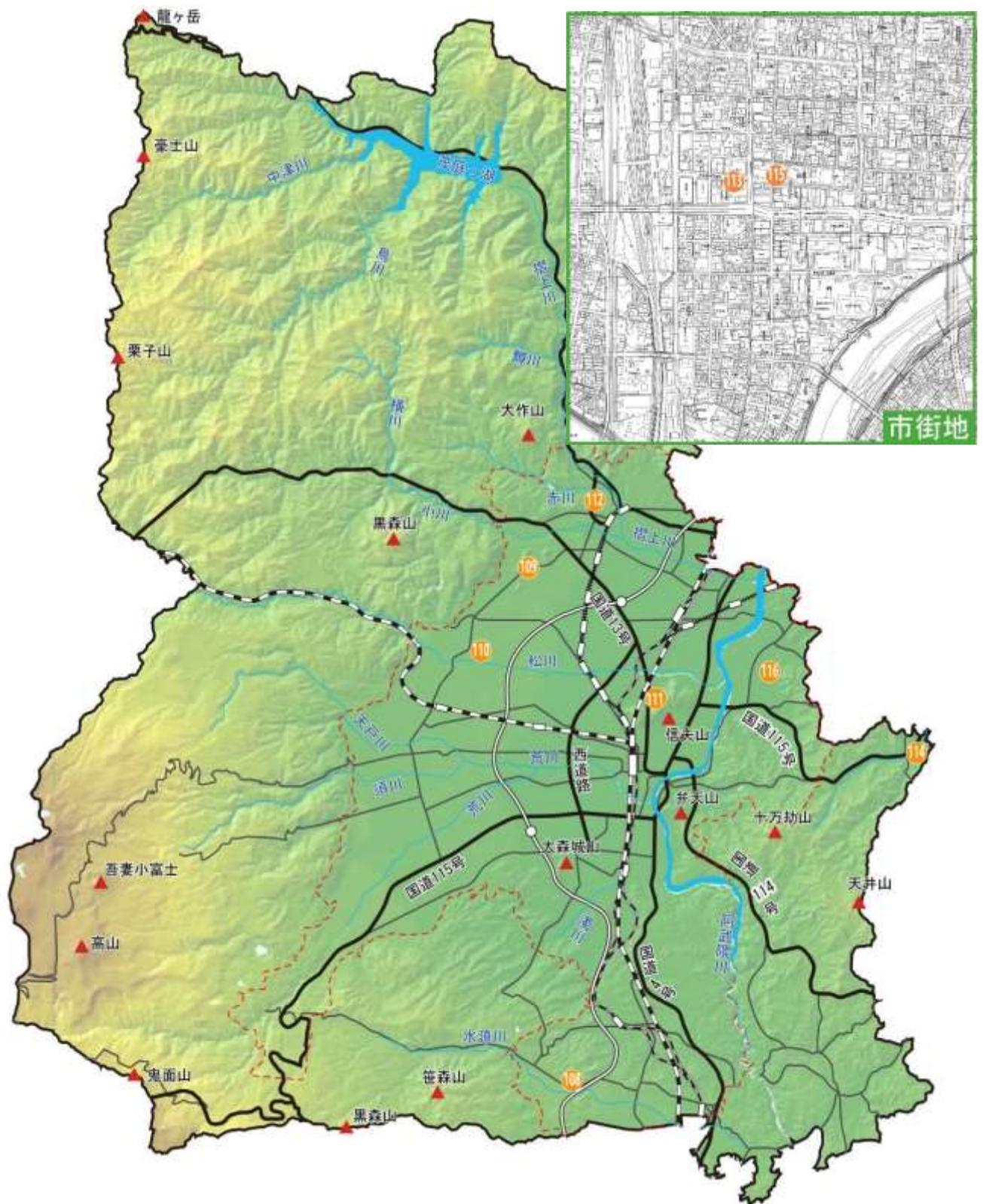
勇壮な飯坂けんか祭り
(景観 100 選 No.112)



秋の例大祭の勇壮な連山車
(景観 100 選 No.113)



伝統ある大波住吉神社の三匹獅子舞
(景観 100 選 No.114)



No.	タイトル
108	水原の集落と一円に広がる田園
109	フルーツラインの果樹畑と桃狩り
110	栗本堰の円形分水工と桜
111	歴史ある信夫三山眺まりとわらじ祭り
112	勇壮な飯坂けんか祭り
113	秋の例大祭の勇壮な連山車
114	伝統ある大波住吉神社の三匹獅子舞
115	パセオ 470 のセタ祭りとイルミネーション
116	伝統ある岡山の水かけ祭り

図表. 景観類型分布 (ふくしま市景観 100 選より引用)

(3) 「福島らしさ」の整理

- ◆本市の景観は、盆地特有の地形や土地利用のほか、古代から受け継がれた歴史、城下町から発展した市街地、市民の営みなどが重層的に形成されています。
- ◆江戸時代には、本市は城下町、宿場町、養蚕や生糸の取引による商業の町として発展しました。
また、福島藩、米沢藩の米などを江戸へ廻米するため、阿武隈川の舟運が発達しました。
- ◆明治時代には、本市が県庁所在地となり、養蚕業を中心とした商業の町として賑わい、その取引は東北全体の中心を占めていたことから、日本銀行の出張所・支店が東北で最初に開設されました。
明治20年代には、旧野田村（現在の笹木野）がレンガの原料に適した土壌であったことから、レンガ工場が建てられ、日本銀行支店などの建築材料に利用されたと云われています。
- ◆東北本線、奥羽本線、磐越西線の開通により、鉄道輸送全盛時代に入ると、東北の玄関口となっていた本市は、生糸、米の集積地としてますます賑わい、明治40（1907）年には人口3万人の都市として市制が敷かれました。
- ◆昭和40年代初期にレンガ工場が閉鎖されて以降は、肥沃な土壌が梨の栽培に適していたこともあり、梨の生産が盛んになり“萱場梨”といった本市を代表するブランドが全国に広まりました。
昭和恐慌、特に第二次世界大戦後の養蚕業の衰退に伴って、桑畑から果樹園への転換が進みました。
果樹の生産が盛んとなった背景には、特に摺上川沿いの地域では土壌が砂質であることや、冬は寒さが厳しく夏は蒸し暑い気候によってももの生産に適していたと云われています。
現在では、もも、なし、りんご、さくらんぼなどが市内各所で一年を通して生産され、全国屈指の果物王国となっています。



阿武隈川の隈畔と船着場
(景観100選 No.59)



御倉邸の庭園と歴史的建造物
(景観100選 No.69)



図. 福島市の景観構造図

① 素晴らしい眺望

- 特に、吾妻連峰と信夫山は本市のランドマーク的な存在となっており、山頂や山腹からは市街地が一望でき、また地上からは視対象として素晴らしい眺望が望めます。
- 広範囲に広がる果樹園、花見山をはじめとする花木畑、地域に育まれた古木や並木など、四季折々の花々により美しく彩られた景観が各所に見られます。



荒川桜づつみ河川公園と吾妻連峰
(景観 100 選 No.1-7)



土湯峠から見た山並みと市街地
(景観 100 選 No.78)



峨嵋山から見た旧河道と市街地
(景観 100 選 No.7)



平田地区の色とりどりの花木群
(景観 100 選 No.34)

② 点在する景観資源

- 旧奥州街道沿いや飯野町の市街地には、歴史の名残をとどめる街なみがわずかながら形成されています。飯坂、土湯、高湯などは、観光温泉地としての街なみが形成されています。
- 茂庭の集落やひっそりとたたずむ黒岩の小原集落、信夫山の六供集落、歴史を物語る神社仏閣、土木遺産、文化財などの名所・旧跡などの歴史資源が市内各所に点在しています。



瀬上宿場町の歴史と周辺の街並み
(景観 100 選 No.81)



江戸期の庄屋屋敷「旧佐久間邸」
(景観 100 選 No.76)

③ 市民にとって愛着や誇りのある景観（市民アンケートより）

●市民にとって愛着や誇りのある代表的な景観は、吾妻連峰、信夫山、花見山です。

<p>吾妻連峰 雪うさぎ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆本市の西方に連なる吾妻連峰、その中にある山の一つ吾妻小富士に積もった雪が、春が近づくにつれて現われる残雪の形がうさぎの形に見えることから、『雪うさぎ』あるいは『種まきうさぎ』と呼ばれています。 ◆吾妻連峰を縦断する磐梯吾妻スカイラインの29kmは「日本の道100選」に選ばれており、途中には、作家の井上靖が「吾妻八景」として選んだ景勝地などがあり観光名所となっています。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <div style="text-align: center;"> <p>二子塚から見た吾妻連峰 (景観100選 No.1-2)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>不動沢橋と福島盆地 (景観100選 No.47)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>一切経山から見た吾妻小富士と 浄土平(景観100選 No.2)</p> </div> </div>
<p>信夫山</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆平地の中にぽつんと存在することから全国的にも珍しいと言われ、市街地を見渡せる烏ヶ崎展望デッキをはじめ複数の展望施設が整備されています。 ◆熊野山・羽黒山・羽山の三山から形成され、著名な社寺、史跡、伝説などが数多く残されており、山全体が「都市公園」に指定されています。 ◆山腹にある羽黒神社では、五穀豊穡、家内安全、身体強健などを祈願し、日本一の大わらじを約100人で担ぎ上げ市内を練り歩き神社へ奉納するといった、江戸時代から続く例祭（信夫三山暁参り）が毎年催されています。 ◆山のほぼ中央には羽黒神社の旧参道で御神坂（おみさか）と云われる坂道沿いに六供（ろくく）と呼ばれる集落がひっそりとたたずんでいます。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <div style="text-align: center;"> <p>コラッセふくしまから見た信夫山 と市街地(景観100選 No.5-3)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>烏ヶ崎から見た市街地 (景観100選 No.79)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>信夫山六供集落と周辺の自然 (景観100選 No.82)</p> </div> </div>
<p>花見山</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆大正15年以降の養蚕業の衰退とともに、園主が自ら畑に花を植えたことが発端となり、昭和34年より花を見る山「花見山公園」と名付けられ、その後一般開放までに至り、シーズン中は20万人を超える観光客が訪れる観光名所となっています。 ◆先代の園主は平成25年9月に逝去されましたが、「次へ伝えていくのが役目である」といった強い意志のもと息子さんが継承しています。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <div style="text-align: center;"> <p>花見山から見た吾妻連峰 (景観100選 No.1-1)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>花見山から見た信夫山と市街地 (景観100選 No.5-1)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>花見山の色とりどりの花木 (景観100選 No.8)</p> </div> </div>

(4) 景観形成上の課題

前項までの景観特性や“福島らしさ”の整理などを踏まえると、本市における景観形成上の課題は、次のとおりです。

◇ 土地利用や景観特性に応じた景観の保全、活用

- “福島らしさ”を演出する変化に富んだ景観の保全、活用が必要とされています。
- 福島盆地の眺望の背景となる山林、農用地などの景観の保全が必要とされています。

◇ 実効性のある届出制度

- 景観に影響を及ぼす建築、開発などの行為について、地域の特性に応じた景観誘導の充実が必要とされています。
- 誰もが理解しやすい実効性のある指導を図るため、マンセル値による定量的な色彩の基準を定めることが必要とされています。
- 現行の景観条例は、強制力が弱い（指導、勧告などにとどまる）ため、罰則規定が科される法に基づく条例へ改正し、より厳格な指導が図れるよう実効性のある施策へ拡充することが必要とされています。

◇ 歴史的な建造物、街なみの保全

- 景観上の特徴を有する歴史的建造物の保全と活用が必要とされています。
- 古民家、神社仏閣などの歴史的建造物、古い街なみなど、歴史・文化資源の保全、創出の仕組みづくりが必要とされています。

◇ 地域に育まれた樹木などの保全

- 地域のシンボルとなっている樹木、屋敷林などの身近な緑の積極的な保全が必要とされています。
- 市民協働により、適切な維持管理が必要とされています。

◇ 素晴らしい眺望の保全

- “福島らしさ”の現れた眺望景観の保全、創出が必要とされています。

◇ 景観形成を重点的に進める地区の検討

- “本市の顔”となる景観形成を推進するため、先導的に景観形成を図る必要がある地区の選定、仕組みづくりの検討が必要とされています。
- “福島らしさ”を醸し出す景観を有する地域では、先導的に景観形成を図る道路、河川、公園などの公共施設の景観形成のあり方（指針）を定めることが必要とされています。

◇ 市民・事業者への啓発活動、活動支援

- 景観形成の取り組みの熟度に応じ、市民・事業者・市が一体となって景観形成に取り組むための啓発・普及事業の充実が必要とされています。
- 周辺環境と調和のとれた景観形成を推進するため、景観住民協定、景観協定、景観地区などの仕組みづくりに対する活動支援が必要とされています。